



Group Mission: Engineering for Sustainable Growth of the Global Community

Group Vision : Global Leading Engineering Partner

Group Values: Integrity, Creativity, Diversity, Learning, Team

成長市場において 受注拡大と収益力向上を目指す 2010年度経営方針

2010年5月13日

取締役社長 山田 豊

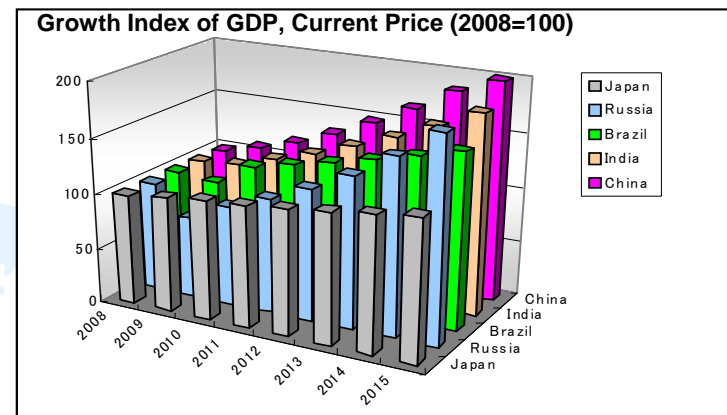
 東洋エンジニアリング株式会社(TEC)

1. 2010年度取り組み方針
2. 進行中プロジェクトの状況
3. BRICsマーケットへの取り組み
4. 主要営業案件の状況
5. Global Toyo加速への取り組み
6. 新分野・新商品開発の状況
7. 中期の売上高・利益見通し
8. 2010年度通期業績見込

1. 2010年度取り組み方針

◆ 新興国市場のEPC需要に対応した受注拡大と収益力の向上

- BRICsは世界人口の約半分を占める巨大かつ成長性の高いマーケット
- 顧客の成長戦略に沿って受注を拡大



出所: IMF World Economic Outlook Database, April 2010より当社作成

◆ Global Toyo体制の加速による成長軌道の実現

- 顧客密着型オペレーションの強化、拠点人員の拡大・新拠点の設立、グローバル管理体制の強化
- 新興国の現地化要請への対応

◆ 新分野・新商品開発による事業基盤の強化

- 社会インフラ(水・発電・交通)、中小型GTL、中規模LNG

2. 進行中プロジェクトの状況

- ◆ 徹底したリスク管理、プロジェクトマネジメントにより保有プロジェクトは順調に進行中
- ◆ グローバル拠点の成長と連携強化によりプロジェクト遂行力が向上



3. BRICsマーケットへの取り組み

- ◆ BRICsを中心とした新興国市場に重点を置いた営業展開
- ◆ BRICs各国拠点の拡充・強化に経営資源を重点投入

Brazil

- 【人口】 191百万人 (2009) (注)
- 【GDP成長率予測】 4.3% (名目・2010-15 平均) (注)
- 相次ぐ油田発見⇒2006年以来、原油の純輸出国へ
- ペトロブラス⇒5年で20兆円投資決定
- 近年、開発は大深海地区へシフト

Russia

- 【人口】 141百万人 (2009) (注)
- 【GDP成長率予測】 4.1% (名目・2010-15 平均) (注)
- 「資源依存型経済」が当面続く
- 油価高⇒景気回復・外資回帰へ
- 非在来型ガスを含むガス開発が活発化

India

- 【人口】 1,199百万人 (2009) (注)
- 【GDP成長率予測】 8.2% (名目・2010-15 平均) (注)
- 一人当たりGDPが1,000ドル超へ
- 膨大な「中間層」の消費が牽引する長期的な内需拡大
- クリーンエネルギー転換

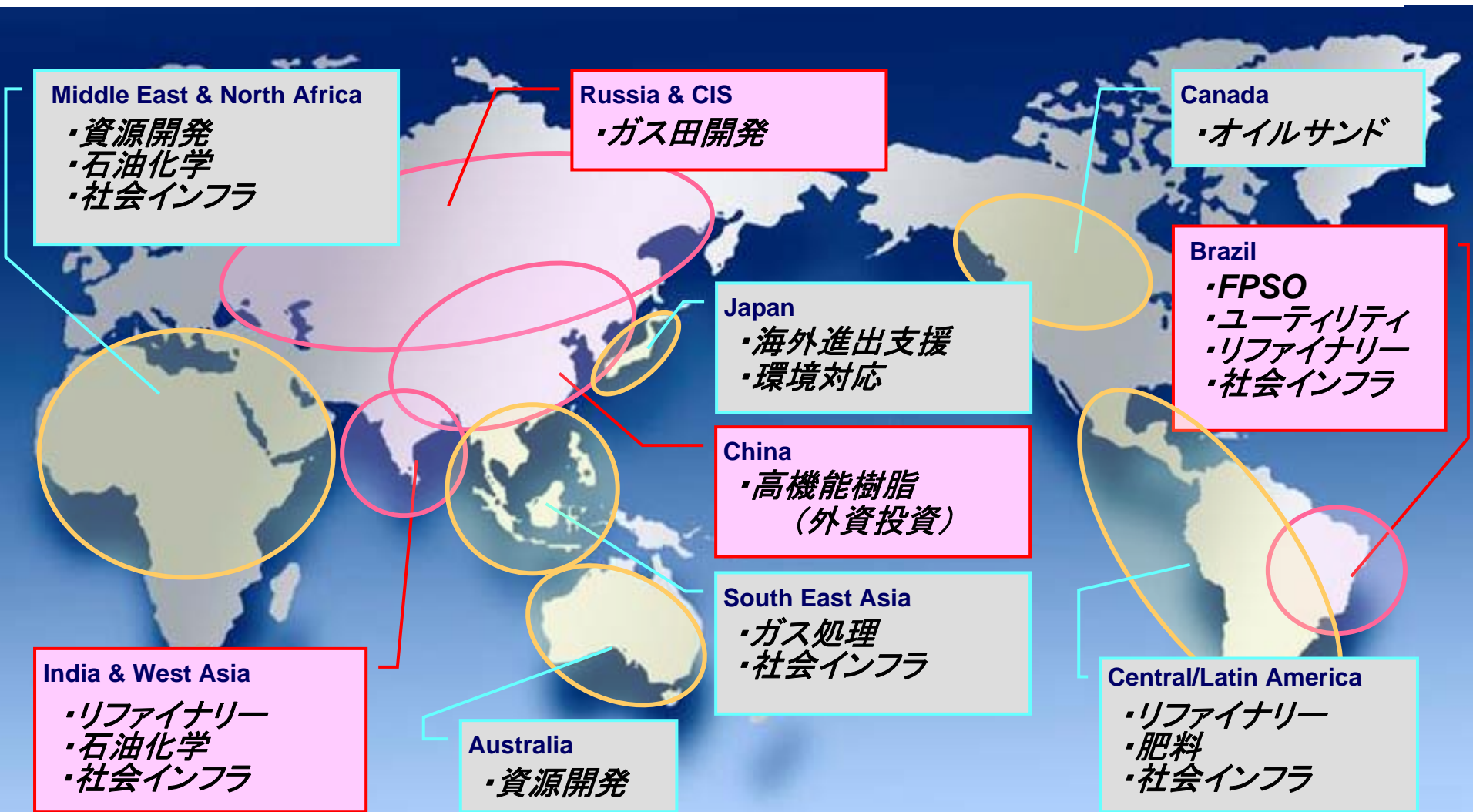
China

- 【人口】 1,335百万人 (2009) (注)
- 【GDP成長率予測】 9.8% (名目・2010-15 平均) (注)
- 高成長下、持続的な内需拡大
- 外資系企業の投資案件が活況
- これまでは沿海地域⇒今後は内陸部の開発へ

(注) 出所: IMF World Economic Outlook Database, April 2010

4. 主要営業案件の状況

◆ BRICsを中心に、エネルギー、 hidroカーボン、社会インフラ、環境対応関連分野へ多角的に営業



5. Global Toyo加速への取り組み

◆ 顧客密着型オペレーションの強化

- Global Toyo各拠点による主体的な営業・受注・プロジェクト遂行

◆ 拠点人員の拡大・新拠点の設立

- インドでの受注拡大に対応した人員増強
- ブラジル拠点の拡充
- 新拠点の設立検討

◆ グローバル管理体制の強化

- グローバル人事制度の導入、高度なプロジェクトマネジメントシステムの共通利用
- 品質・HSSEおよび生産性の向上

6. 新分野・新商品開発の状況

◆ 注力中の3つのテーマは順調に進捗

【社会インフラ分野(水・発電・交通)での受注】

- 新興国／先進国市場において、三井物産と連携しプロポーザル実施中

【中小型GTL^{注)}技術開発】

注) :GTL: Gas to Liquidsの略。地球上で石油より可採年数が長いとされる天然ガスから、液体燃料などを作る技術

- ペトロブラスの協力によりブラジルに2011年3月完成予定で実証設備を建設中
- 2011年末までに商業化完了予定(当社、Velocys、三井海洋開発の3社共同開発)
- 2012年にペトロブラスからプレサル油田向け1号機受注を目指す

【中規模LNGプラントの商品化】

- 低コスト、短納期、運転の容易性を検証終了
- 中小規模ガス田向けマーケティングを開始
- 船上LNGへの展開

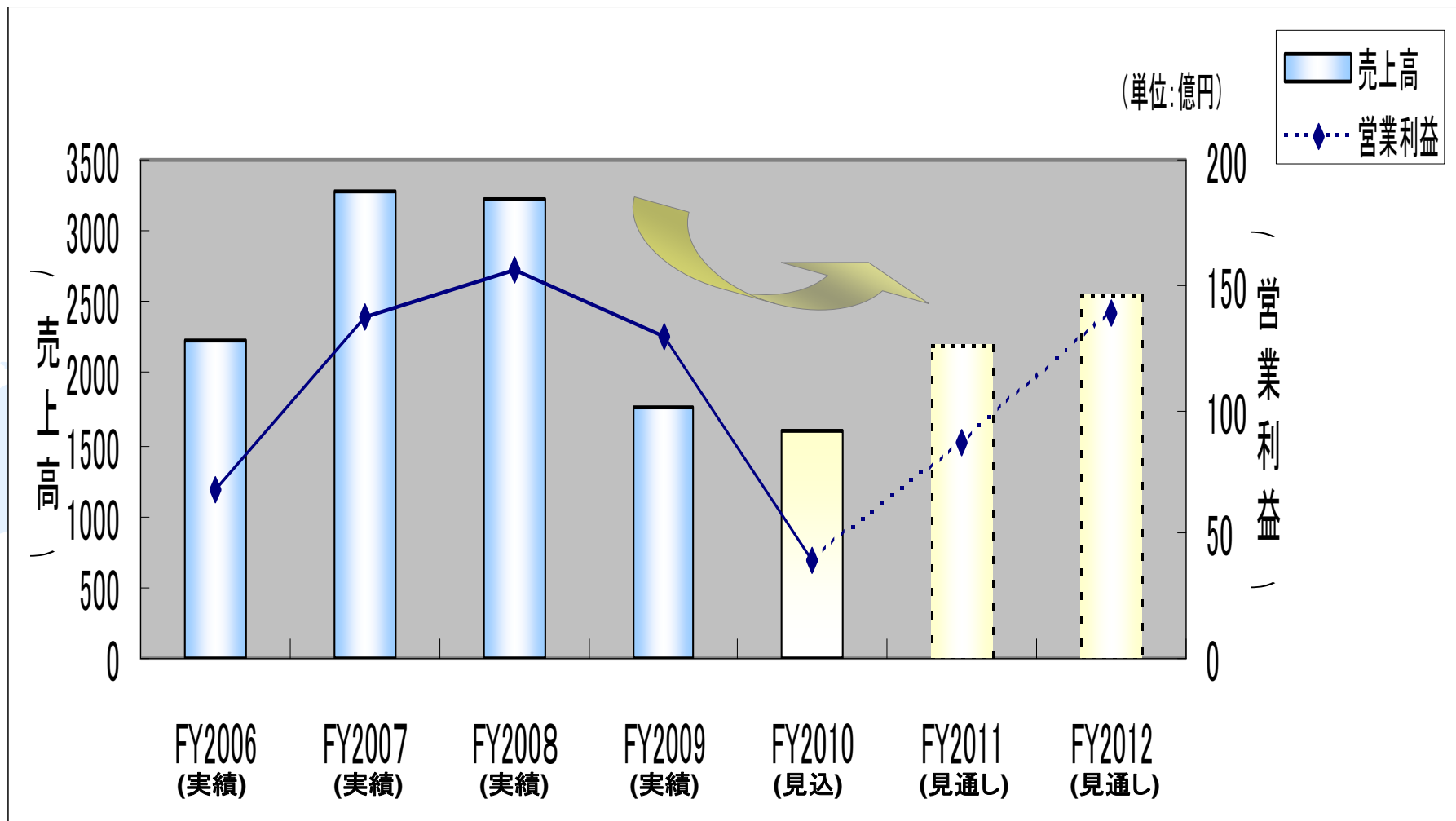
ブラジルに建設されるGTL実証設備



CHART/当社の中規模LNGプラント



7. 中期の売上高・利益見通し



(注) 見込み及び見通しについては、確定しているものではありません。

8. 2010年度通期業績見込

(単位:億円)

(連結)	2010年3月期 実績		2011年3月期 通期見込	
売上高	1,739	100.0%	1,600	100.0%
売上総利益	329	19.0%	240	15.0%
営業利益	130	7.5%	40	2.5%
経常利益	144	8.3%	35	2.2%
当期純利益	71	4.1%	10	0.6%
配当(単体)	7円	—	3円	—
受注高	1,324	—	2,800	—



【お問い合わせ先】

 **東洋エンジニアリング株式会社**

URL <http://www.toyo-eng.co.jp>

〒275-0024 千葉県習志野市茜浜2-8-1

広報・IR室 IRマネージャー 佐久間和博

電話 047-454-1681

本資料に記載されている見通しや業績予想などのうち、歴史的事実でないものは現在入手可能な情報から得た当社の経営陣の判断にもとづき作成しております。実際の業績は、当社の事業領域を取り巻く国内および海外の経済・金融情勢等、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは異なる結果となりうる事をご承知おきください。